

平成15年度 公社改革プログラム実行状況（実績表）

理事長直轄の改革推進チームを設置 経営改善実行計画(平成15年度～19年度)を5月に策定

経営改善の指標（進捗管理 3回実施(8月・12月・3月末)）

平成15年度に実施した項目を区分毎に記載した。

A：5年以内に効果が発現するもの
 B：5年以降に効果が見込まれるもの
 C：取組の可否を検討するもの

区分	内容	進捗管理	目標とする効果 (5年間)	15年度の目標	15年度取りまとめ(実績)	5年間の削減効果
増収対策	伐期の平準化	B	百万円	契約延長1,000ha	1,040haの延長契約締結	
	収入間伐の推進	A			2団地 実施面積 3.33ha 売上 244千円	
	副産物の活用	A	1		枝条や元株等の利用や流通状況の調査を実施したが、現状では有効な情報はなし。今後も継続して情報収集を実施予定	
	有効な基盤整備の推進	A			路網整備計画の基礎となる路網開設判定基準を作成	
金利対策	有利な制度融資の活用	A	89	借換面積1,000ha	借換の推進(795ha、296百万円を借換)・・・借換日16年3月24日 金利削減効果(5年間:35百万円、総計:130百万円)	45
	有利子資金の抑制	A		緊急雇用396ha 緑の雇用8ha	経費負担の少ない事業の活用(緊急雇用810ha、緑の雇用35ha) 事業費107百万円の軽減効果 金利削減効果(5年間:6百万円、総計:11百万円)	6
				森林整備地域活動支援交付金対象面積 13,123ha	交付金に係る協定面積の増(4,440ha 7,770ha) 交付金額(44,380千円 77,678千円 33,298千円の増) 金利削減効果(5年間:133百万円 H18年度まで)	133
	不成績林の早期処分	B	8		立木評価システムを見直し、売却不可能と思われる林分を選定(4団地 56ha)	
一般管理費対策	事務の簡素化・合理化	B			消耗品等の事務所管理費用の削減	
	業務の外注	A	2		登記事務の外注(1月、43件 763ha)	
	借り上げ料の節減	A	15		事務所移転(1月19日)(借上料8,390千円 0千円) 削減効果(H15:1,398千円(2ヶ月分)、5年間:35百万円)	35
	意思疎通の円滑化	A			15年8月ホームページの開設、16年3月公社だよりの発行(2,016人)	
森林経営費対策	不成績林等の早期処分	B	3		立木評価システムを見直し、売却不可能と思われる林分を選定	
	単価・歩掛かりの適正化	A			労務単価の一部改正及び歩掛等の改正(14,200円 13,100円)	
推進体制	競争入札の導入	A			事例の情報収集に加え、造林事業の内、路網整備等にかかる事業の競争入札を検討	
	技術レベルの向上	B			技術顧問の要員確保	
	経営改善の継続	A			各課題についての進捗管理を行い、目標達成に向けての確認作業を実施	
計			118			219